

No.147 2017 APRIL

平成29年4月21日発行



愛と復興

慎重な財政運営	2
住民との意見交換会	8
町民からの陳情、今	11
明和・朝日地区からの陳情を受け 特別委員会設置	12
一般質問(7人の議員が登場)	15

発行：只見町議会広報広聴常任委員会
〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30
TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222
E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp

議会だより

の意見



伝統の小林早乙女踊り

3月
会議

財政運営

あらまし

3月会議が3月7日から16日までの会期で開催されました。初日に、各常任委員会の所管事務調査報告、町長の施政方針、教育長の教育行政方針などが行われ、2日目から一般質問を行い7議員が観光行政などを取り上げ、町政を質

しました。4日目以降、予算特別委員会が設置され、平成29年度当初予算を審議しました。最終日、委員会に付託された予算案すべてを原案通り可決。追加提案された副町長の人事案件が承認され、散会しました。

子育てを支援

年長児童の保育料を無料化

予算の特徴

■一般会計当初予算は、前年度比8億1800万円、率にして13・7%の減額予算編成となった。その要因は、只見振興センター新築工事、奥会津学習センター増築工事などが終わったことによる。

■町税収入は、前年度比510万円の減額見込み。一方、地方交付

税収入は前年より約7700万円増額を見込んでいる。

主要な取り組み

第7次振興計画を具

体化するため、財政の健全化に配慮した事業配分がおこなわれた。

■JR只見線は、地域

住民の熱意により一定の方向が示され、只見線を核とした観光誘客対策に努める。

■国道289号「八十

■国庫支出金は、土木費の国庫補助金の増額を見込み、県支出金については、災害復旧の終息で減額となっている。

里越」は三条市、町議会と強力な働きかけを継続する。開通後の地域振興を検討する「連携戦略会議」の創設に向けた協議を進める。



役場暫定移転先候補の旧只見中学校

■役場庁舎建設は、危険回避・安全確保のための暫定移転を進めていく。

■住民主役の町づくりを進めるため、従来の地域づくり交付金制度を見直し、集落支援や団体支援を継続していく。

■子育て・少子化対策の新事業として、年長児童の保育料の無料化を実施し、保護者負担の軽減を図る。

■観光振興策として、田子倉ダムを中心としたアウトドア拠点整備計画策定、宿泊飲食事業持続化創業の支援を継続し、教育旅行の誘客にも力を入れていく。

29年度予算 51億4200万円 慎重な

思い切った振興予算を



今年の只見中学校校入学式

議会では、予算特別委員会や町執行部の詳細な説明を受け慎重に議論を重ねた。議会からは、低迷する町経済の中で思い切った観光振興対策予算や、税収減の中で今後の町の活性化策などについて意見が相次いだ。

平成29年度各会計予算額と議決状況

会計名	予算額	議決内容	賛 否										
			酒井	大塚	藤田	中野	佐藤	鈴木(好)	目黒(道)	鈴木(征)	目黒(仁)	山岸	
一般会計	51億4200万円	意見を付して原案通り可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
国民健康保険事業特別会計	5億8500万円	原案通り可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
国民健康保険施設特別会計	4億6200万円	原案通り可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	
後期高齢者医療特別会計	1億3500万円	原案通り可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
介護保険事業特別会計	7億2000万円	原案通り可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
介護老人保健施設特別会計	2億6200万円	原案通り可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地域包括支援センター特別会計	1020万円	原案通り可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
簡易水道特別会計	2億2200万円	原案通り可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
観光施設事業特別会計	4400万円	原案通り可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
交流施設特別会計	6300万円	原案通り可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
集落排水事業特別会計	3億400万円	原案通り可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝日財産区特別会計	1440万円	原案通り可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
合計額	79億6360万円		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

1. 地域づくり交付金
 把握し住民自治の本質が具現化されるよう、成熟した制度設計を構築し予算執行に当たること。

2. 各振興センターの事務について
 本町の出先機関の事務もあるが、各センターは住民自治の事務局としてもつばら機能しなければならない。本来の業務を理解し、その業務がより成熟するよう、職員の配置と資質向上に万全を期し予算執行すること。

3. 観光商工施策について
 町の観光政策の方向性と第三セクターの在り方が不明である。集客施設と収益施設を区別し、当町が持つ観光資源が総合・横断的に活かされるよう腐心して予算執行に当たること。

新年度予算は次の意見を付して可決した

予算審議

予算特別委員会

質疑応答

スポーツパーク構想 基本計画を示したい



只見地区で開かれた敬老会

一般会計 歳入

個人町民税、
税収増
408万6千円

問

個人町民税税収の増額要因は？
給与、農業所得の増額による。

答

一般会計 歳出

庁舎改修設計
委託料
900万円

問

庁舎改修設計委託料の内容は？
庁内事務改善委員会でも検討しており、まとも次第お示しする。

答

まちづくり会社
設立
540万円

問

まちづくり会社設立支援業務委託の内容は？

答

町民の理解をよ
く得る必要もある
るので慎重に進めたい。

スポーツパーク
1063万8千円

問

スポーツパーク測量設計委託料の内容は？

答

今後、基本構想をもとに基本計画を策定したい。

新地域づくり
交付金
300万円

問

新地域づくり交付金の内容は？
審査体制などの

答

意見を踏まえ、
今後要綱を検討する。

障がい者支援センター
運営委託
1548万円

問

就労B型への移行を検討した

答

今後継続して
検討する。

敬老会委託料
254万円

問

敬老会の食事の改善を！
事前打ち合わせ
をして改善を図る。

答



「只者じゃない」に認定された商品

思い切った魚放流を 調査結果を見て検討

分校の指定管理者
108万4千円

問 「森林の分校ふざわ」の指定管理者は決定したか？

答 5月目途で進めている。

水産業費
63万9千円

問 思い切った放流事業を！

答 現在調査中。28年度の報告書を見て検討する。

遊休農地
121万7千円

問 遊休農地再生整備工事の内容は？

答 荒廃農地を再生するモデル事業で今年度、1か所を予定。

「只者じゃない」商品開発
194万7千円

問 只者じゃない新商品開発委託料、内容は？

答 現在9商品、30商品の商品化を目標。

看護師確保

問 看護師の正規募集で定員を確保せよ！

答 患者数や現場の要望を踏まえ、条例改正も含めて検討していく。

国保税軽減を

問 基金を活用し、国保税の軽減を図れ！

答 将来に向けて財源を確保しておくべき。

交流拠点の再整備

問 湯ら里の宿泊客室数の増設で交流拠点の再整備を！

答 方針、計画を検討する。

診療所離れ？

問 町民の診療所離れの対策は？町民の信用・信頼を得る職員の

答 意識改革、接遇向上に努める。

緊急雇用対策
3667万6千円

問 28年度事業と29年度見通しは？

答 国から直接交付で厳しい条件となっている。28年度は8事業所、14名雇用。

条例

只見線に夢あるアイデアを

「JR只見線ゆめ基金」条例可決

只見線への思いを条例に



只見線豪雨災害（金山町第5橋梁）

平成23年7月の新潟・福島豪雨災害によりJR只見線会津川口・只見間が被災してから5年以上が経過したが、この間、福島県、会津の市町村、そして地域住民が一体となって全線復旧に向けた取り組みが行われてきた。そして、復旧と今後の運営に向けた一定の方向性が示され、会津全市町村が連携・協力して取り組むことが検討会で確認された。

復旧後の運営は、鉄道施設を自治体が保有・管理し車両の運行をJR東日本が行う「上下分離方式」により

行われる予定で、年間の運営費2億1000万円の各市町村負担は左記の通りとなっている。

3月会議では、今後の運営費などに充てる「JR只見線ゆめ基金」条例案が可決された。

県、市町村別運営費の負担割合

団体名	負担割合 (%)	参考 (2009年度の場合の試算額)
福島県	70.00	1億4700.0万円
県計		1億4700.0万円
会津若松市	4.402	924.4万円
只見町	9.217	1935.5万円
会津坂下町	2.267	476.1万円
柳津町	2.175	456.8万円
三島町	2.026	425.4万円
金山町	6.206	1303.3万円
会津美里町	2.807	589.5万円
沿線市町村計		6111.0万円
喜多方市	0.425	89.3万円
下郷町	0.050	10.4万円
檜枝岐村	0.005	1.1万円
南会津町	0.140	29.3万円
北塩原村	0.024	5.1万円
西会津町	0.057	11.9万円
磐梯町	0.031	6.5万円
猪苗代町	0.130	27.2万円
湯川村	0.025	5.8万円
昭和村	0.011	2.4万円
非沿線市町村計		189.0万円
合計		2億1000.0万円



住宅条例を改正

町営住宅の入居要件が緩和されます

公営住宅法の規定によらない住宅を設置するための条例改正案が可決された。

築年数40年を超えた住宅が公営住宅法による規制対象外となるため、町条例により独自の管理が可能となる。

このため世帯収入などの要件が緩和され、



沖下町営住宅

要件が緩和された住宅

住宅名	沖下住宅
位置	只見字沖 1469番地
戸数	5戸連棟2棟

より多くの町民が利用できるようになる。対象は沖下住宅。

繰越明許事業と繰越金額

事業名	繰越金額
公共施設等案内看板改修事業	650.0万円
個人番号制度事業	36.3万円
障がい者グループホーム整備事業	2730.1万円
介護保険事業計画及び高齢者福祉計画策定事業	807.6万円
農業基盤整備促進事業	820.0万円
農地耕作条件改善事業	2700.0万円
道路新設改良事業	1607.5万円
林道過年災害復旧事業	1億5874.7万円

繰越明許とは

本来、町の事業は、その年で事業を完了させることが原則とされて

繰越明許

いる。繰越明許費とは、理由によってその年度内に終わらなかった事業を翌年度に財源を繰り越して事業の実施を認めるもの。

承認された繰越事業

3月会議において、昨年度から新年度へ繰り越しされた事業は次のとおり。

伝統の

小林早乙女踊り

小林の早乙女踊りは、200年の歴史を持つ田植え踊りの一つです。



表紙の写真

かつては旧正月14日の晩から翌朝までかけ全戸に舞い込んでいましたが、今は班ごとに宿が定められ行われています。

その年の最後の家で舞うことを「ぶっとめ」と言うそうです。今年も「ぶっとめ」まで、精一杯の踊りが繰り広げられました。

集落をあげて、若者を中心に継承されています。

一般会議

1/26

明和自治振興会



通学見守り隊の活動

役場は旧只見中に暫定移転 今は町づくりの推進が優先課題

■今まで役場新庁舎建設で費やした1億数千円分の経過と総括を精査して町民に示すべきだ。危険な現庁舎から、まずは旧只見中に移転し、山積する重要施策

■今までの役場新庁舎建設に取り組むのが今の優先課題だ。

■庁舎問題について、今まで住民として無関心だった反省がある。

■1者入札からこの問題が生じた。職員も町

長に意見すべきだった。

■公共施設の再配置を総合的に考えて、今後進めるべきだ。むしろ、現庁舎の場所は商業地域として適地だ。

■以前、分散移転の話聞いたが、職員の意識を一つにする意味でも一括移転を行うことが重要だ。

高齢者の買い物支援

三地区共通の課題

■明和地区では、世帯調査の結果、買い物弱者が増えている状況が分かり、買い物支援バスを県の支援で行ってきた。来年度以降について、町に要望しているが具体的な返答がない。

■添乗者が乗るので荷物運び、安否の確認、コミュニケーションなど、

■明和地区では、世帯様々な利点もある。

■住民の要望をよく把握し、時代変化で現在の制度を改善すべきだ。

■「雪んこタクシー」だけでは住民要望に答えられない。デマンド交通の補完的な役割もあると考えている。高齢者の買い物支援は3地区共通の課題だ。

その他

■振興センターの機能強化をすべきだ。弱体化した集落事務を振興センターでカバーできる体制が必要だ。

■毎朝の子どものための通学見守り隊の活動は、ボランティアで行っているが、今後の在り方を検討いただきたい。

■議会には、ぜひ町当局に政策提案できる事案を作ってほしい。

明和自治振興会、只見地区区長連絡会より役場庁舎や町政全般にわたり一般会議の申し込みがあり、全議員出席で住民の意見をうかがいました。



明和振興センターに参加のみなさん

住民との 意見交換会

2/24

只見地区 区長連絡会

寄せられた貴重な意見を紹介します。なお、明和地区は20名、只見地区は30名の参加がありました。



只見振興センターに参加のみなさん

役場は

現庁舎敷地内に建設を

一旦決めた移転をなぜやらない

■「地域計画」の答申でスタートした役場庁舎建設、現庁舎敷地内に新築する事を求める。行政の府として役割を果せる建物を建設すべきだ。

■旧只見中学校は以下の理由から不適切だ。

- 23年豪雨災害の折、水害にあっている場所だ。
- 中心市街地から離れており地理的環境、交通環境が悪い。
- 野球場、体育館などが隣接しており、交流・教育研修施設に活用してはどうか。

- 1億数千万円の損失責任を議会はどうかとえているか。
- 暫定移転には同意できる。
- 危険ならまずは移転だ。なぜやらない。決めた通り順序良く進めるべきだ。

駅前 の衰退 地域づくり に待ったなし

■只見駅前通りの衰退などは著しい状況にある。今まで具体的な政策がなく進んできた。待ったなしの地域づくりに議員一人ひとりもよく認識して取り組んでほしい。



イベントで賑わう只見駅前通り

議会活動 リポート

住民の利便対策 県道改良を県に要望



「県道改良を要望します」3月21日の要望活動

沿線地域の産業、経済、文化の発展交流に極めて重要な役割を持つ県道は整備が遅れており、自動車交通不能区間や、冬期間交通不能区間が存在し、地域の発展に大きな支障をきたしている。

「県道布沢・横田線」及び「県道小林・会津宮

下停車場線」の2路線の不能区間の解消、整備について、3町村が合同で要望活動をしている。

3月21日に南会津建設事務所、会津若松建設事務所、そして福島県土木部、福島県副知事に対して要望活動を実施した。

只見高校入学者増に向けて

振興対策会議開催

2月17日、第2回総会が開催され、28年度進路決定状況、只見中学校からの進学率向上対策、その他について会議があった。

その中で「只見高校生の学力が向上していること」「公営塾の設立

で、さらなる向上を目指す、入学者増につなげること」「山村留学生のなかで将来は只見町に恩返しをしたい、と言う生徒がでてきたこと」などの希望の持てる話を聞くことができた。



只見高校「雪椿祭」のステージ

空き家バンク 情報

総務厚生常任委員会でも調査を進めてきた空き家バンクがスタートする。増加する空き家を有効に活用し、定住促進と町民の住宅環境を整える狙いがある。県宅地建物取引協会と売買契約などの仲介について協定が結ばれた。情報は町ホームページから。

町民からの陳情、今



白沢給水施設の調査

● 陳情の結果

陳情名	提出者	陳情内容	結果	理由
白沢地区給水施設の只見町への移管に関する陳情	黒谷区	集落給水施設の町移管要望	採択	集落管理から町管理への移管を求める住民要望は、県との協議などが整い、具体的な事業が示されたことから、本陳情は採択とした。
全町的な「買い物支援バス」運行と地区並びに集落支援活動の支援について	明和自治振興会、明和地区区長連絡協議会、明和地区老人クラブ連絡協議会、明和婦人会	住民と行政による協働のまちづくりの早期実現	採択	進行する人口減少、高齢化の中、町当局は地域課題を共有し積極的な施策を講じるべきと判断し、採択とした。
只見町役場を旧只見中学校校舎に定めることについてのお願い	明和自治振興会、明和地区区長連絡協議会、明和地区老人クラブ連絡協議会、明和婦人会	只見町役場を旧只見中学校校舎に定めること	採択	詳細については、12ページ採択理由による。
只見町役場本庁舎建設に関する陳情	朝日地区区長連絡会	旧只見中学校校舎を改修し役場庁舎とすること	採択	詳細については、13ページ採択理由による。
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	日本労働組合総連合会 福島県連合会南会津地区連合会	国県機関への意見書送付	採択	本件については、只見町議会会議規則に基づき委員会付託を省略し、本会議において採決した結果、全員賛成により採択とした。

● 継続とした陳情

陳情名	提出者	付託委員会
天堂沢の河川改修工事施工について	黒谷区	経済文教常任委員会

意見書

3月会議において、議員提案で2件の意見書が提案され、採択しました。

- ① J R只見線早期全線復旧を求める意見書
- ② 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

※各意見書は国県機関へ送付しました。意見書の詳細については、只見町議会ホームページで確認できます。

2月27日開催の第1回定例会において、総額10億523万3千円の一般会計予算は、全会一致で原案通り可決された。

特筆すべき事項は、緊急防災対策交付金事業で実施する、消防庁舎建設関係で、基本設計・実施設計業務委託料1億470万2千円、地質調査業務委託料657万3千円、水槽付消防ポンプ自動車の更新等。

なお、29年度の只見町負担金は2億528万8千円となった。

南会津地方
広域市町村圏
組合議会

特別委員会設置

特別委員会

特別委員会審査経過



役場庁舎に係る「陳情」が明和自治振興会、朝日地区区長連絡会から出され、議会は、全員協議会・特別委員会を設置し審査を行いました。内容はいずれも「旧只見中学校校舎の活用を求め、今すぐ建設すべきでない」とする主旨で、委員会は陳情者に参考人招致を求め主旨の確認と町長にも今後の方針を確認しました。結果、委員会は両陳情ともその願意の妥当性から採択すべきと決定し、本会議で賛成多数で可決しました。

明和地区

今は建設でなく、山積する 地域振興策を優先すべき

今は巨額をかけた庁舎建設より、少子化対策など山積する課題解決のための重要施策に取り組むことが町の優先課題である。

現庁舎が危険であれば、役場機能が十分果たせる旧只見中に役場機能を集中させ、町長・

職員一体となった地域づくり体制を整えるべきである。

議会が決定した暫定移転に反対するものではない。今後の新庁舎は、一定の地域づくりの成果を見ながら再度町民に問うべきである。

採択理由

「庁舎は現存する旧只見中学校を活かして役場庁舎とする事」であったが、陳情者を参考人招致し主旨の確認を行った。結果、「危険庁舎であることから早急に暫定移転すること」また、「山積する政策課題等の地域振興策を優先すべき」との主旨を確認し、採択とした。



明和地区の参考人説明

役場庁舎 建設について

明和・朝日地区からの 陳情を受け

朝日
地区

役場は新築でなく
旧只見中改築で対応すべき

議会は以前、旧只見
中学校を活用すべきと
の朝日地区区長連絡会
からの同様の陳情を
「採択」しているが、そ
の後一向に進められて
いない。
少子・高齢・過疎化
が進む予測の中で、今
後町勢の縮小も予想さ

れる。今多額な財政を
投じ次世代に過度な負
担を強いべきでない。
財政事情からも、新
築でなく暫定移転し、
旧只見中学校の必要最
小限の改築で対応すべ
きだ。

朝日地区の参考人説明

採択理由

「役場庁舎は、新築でなく旧只見中改築で活用」との陳情であったが、陳情者を参考人招致し主旨を確認した。結果、少子高齢化が進み町勢の縮小が予想される中、「次世代に過度な負担を強いるべきでない。また、暫定移転は「行政執行に支障が出ない必要最小限の改修」の主旨を確認し、採択とした。

町長に聞く

将来に向けた
計画樹立が優先

- 役場は、危険回避で暫定移転を進める。
- 今は、将来に向けた計画樹立が優先課題と考えている。
- 今後、道路改良計画と合わせて位置も決まってくる。

本会議賛否状況

酒井右一	○
大塚純一郎	○
藤田力	×
中野大徳	○
佐藤孝義	○
鈴木好行	○
目黒道人	○
鈴木征	×
目黒仁也	○
山岸国夫	○

討 論

反対討論／藤田力、鈴木征……明和自治振興会からの陳情は「役場庁舎を旧只見中に定めること」が表題だ。これを採択とすれば、後々問題を残すことになる。

賛成討論／目黒仁也、佐藤孝義……趣旨を確認するため参考人招致して願意を確認した。その結果委員会としては、「採択すべき」と決定している。陳情の願意は妥当性がある。



特別委員会で説明する町長



ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol. 11



アカシヨウちゃん



イワっぺ

「予算の議決」って どういう意味なの?

只見町キャラクター ©Tadami

みんなに代わって只見町のキャラクターたちが聞いてくれました。



ブナりん

「予算の議決」ってどういう意味なの?

予算特別委員長

予算とは、町の1年間の収入と支出の見積計算書だよ。住民が納めた税金の使い道を考えたものなんだ。それを住民代表の議会が議決して、はじめて使えるようになるんだよ。



アカシヨウちゃん

どんなふうを決めてるの?

予算特別委員長

役場の担当課長が事業の内容と予算を説明してくれて、議会は質問したりして判断するんだ。予算の各項目は、すべて住民の負担に関わることで、内容全てを最終決定する議会が責任を持つべきものだよ。



イワっぺ

予算は、誰が作っているの。

予算特別委員長

予算の提案権は、町長にあって役場で作っているんだよ。議会は、これを審議して原案可決なり修正可決、場合によっては否決しなきゃいけないんだ。

アカシヨウちゃん

責任重大だね!

予算特別委員長

議会は、予算の修正もできるんだけど、減額修正はもちろん増額修正もできるんだよ。でも増額修正する場合は、町長の提案権を侵すような修正はできないんだ。

ブナりん

ぼくたちのお小遣いも、よく考えて使わなきゃね!



一般質問

- **大塚純一郎**…………… 16
10年後の人口5000人を目標に
- **藤田力**…………… 17
町の奨学金は「給付型」になるのか、他
- **鈴木征**…………… 18
「地域包括ケアシステム」方針を示せ、他
- **佐藤孝義**…………… 19
只見線復旧の経過を示せ、他
- **鈴木好行**…………… 20
観光客を増やすには、他
- **酒井右一**…………… 21
町税損失1億2000万円の住民説明は
- **山岸国夫**…………… 22
入学準備金の入学前支給を、他

一般質問とは

議員が行政全般（役場の仕事全般）に対して、方針をただしたり政策の提言などを行うことです。

町政を問う

この町を想い7名が

10年後の人口 5000人を目標に

答 課題解決へ着実な施策の実行が必要



おおつかじゅんいちろう
大塚純一郎議員

問

町の最重要課題は、いかにして人口減少に歯止めをかけ、いかにして人口を増加させていくかだと思ふ。それには明確な目標設定が不可欠だ。現在、4350人まで減少した町の人口を、10年後5000人に増加させること。明確に目標を掲げ、町民みんなで共有することによって、それを実現するための具体的な取り組み策が見えてくる。これらの課題を着実にスピード感を持って実行することが重要だと思ふ。

答

うが、町長の考えは。只見町人口ビジョンにおいて、2040年の人口を3000人と目標設定している。大きく目標を掲げる前に、まずはこれらの課題に対する具体的な施策を着実に実行することが必要と考へる。

問

町の将来を見通した夢のある、希望の持てる町づくりを目指さなければ、若者が只見町に定住するとは思えない。今、只見町では若者が結婚しても、2人が

答

住む適当な住宅がないという声が聞こえる。町の最重要課題の一つである「若者定住政策としての住宅整備計画」はスピード感を持って取り組まなければならない。IUターナーの受け入れ、地元企業の雇用受け入れ策を含めた具体的対策を示せ。

公営住宅法に基づく所得基準を拡大した特定公共賃貸住宅の整備や、所得制限を設けない借り上げ型民間賃貸住宅を確保してきた。また、年数が経過した住宅は、計画的な修繕や長寿命化計画に基づく居住環境を良くする改修にも着手している。また、優良な空き家を定住利用できる改修制度も創設している。さらに定住促進住宅の新築を検討している。

問

経済の活性化は、いかにして観光交流人口の拡大を図っていくかだ。ユネスコエコパークに登録されて2年以上経過しても、町として具体的な取り組みが見えてこないようだが。

答

交流人口の拡大に寄与するような活動は、まだ不十分だ。住民と共同で実施する事業展開に努めていきたい。



借り上げ民間賃貸住宅

町の奨学金は「給付型」になるのか

答 次年度を目途に検討

問 国でも、奨学金を返済不要な「給付型」にする。町でも給付型に変える検討をしていると聞く。方向性、時期はいつ頃を予定しているのか。

答 一定期間内にUターンし就業した場合、奨学金の償還額を補助しようとするもので、町へ人材が戻ることがこの制度の一

番の目的だ。安定財源を確保し次年度内を目途に事業の検討をする。

問 今の最大の課題は、人口減対策だ。いわき市では、奨学金の制度を工夫し「地域の産業を支える人材の定着を図る」目的で返還額の半分を補助する制度を作った。町でも町内就職者を強力に支援する政策として採

用すべきではないか。町内就職者を支援する制度として「U・Iターン促進助成金」を実施している。さらに有効な制度となるよう検討する。

答 町内就職者を支援する制度として「U・Iターン促進助成金」を実施している。さらに有効な制度となるよう検討する。

問 宿泊飲食持続化創業支援事業の実施状況はどの位あるか。また、事業効果は。

答 事業開始の27年度からこれまで宿泊7件、飲食7件である。宿泊業では、部屋数の増加、トイレ改修、通信環境の整備。飲食業では、観光利用と住民の交流の場としても利用されている。

問 宿泊では、何人多く宿泊できるようにになったのか。

答 計画では7件、合計で94人増える。

問 他の業種から「対象を広げてほしい」との要望があるが。

答 実績を判断し、商工会と有効な施策について検討する。

いわなの里へ支援を

答 役割を整理して支援する

問 いわなの里は、会津朝日岳の登山口、町内きつての時間のつぶせる重要な観光エリアだ。町として何かしらの支援が必要と考える。例えば、トイレ、駐車場、登山客の休憩施設などどうか。

答 30年以上にわたり、釣り堀や自

然体験、会津朝日岳登山口など観光地として協力していただいた。登山口の駐車場やトイレ整備などは重要である。官と民の役割を整理し、必要に応じて、いわなの里への支援を含め、観光客の受け入れ環境の整備が必要と認識している。

り、釣り堀や自



ちから 田 議員
た 藤
ふじ

宿泊飲食持続化創業支援事業の件数は

答 昨年から今まで14件実施

問 計画では7件、合計で94人増える。

答 実績を判断し、商工会と有効な施策について検討する。



いわなの里は観光地。看板もユニークです

「地域包括ケアシステム」 方針を示せ

答 町に適するシステム構築に取り組む



すずき 木 すすむ 議員

問 「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、どのような取り組みを進めているのか。

答 地域包括ケアシステムは、高齢者が住み慣れた地域で介護や医療、生活支援サポートを受けられるよう、町が中心となり、「住まい」「医療」「介護」「生活支援・介護予防」を包括的に体制整備するものであり、行政・民間企業・ボランティア団体がより自由に自主的な地域づくりを進める仕組みである。

このシステムが安定的に機能するには、公共分野の取り組みだけでは達成は不可能であり、自助・互助・共助・公助の役割に際して積極的に関わりを持ち適切に機能することで、初めて地域全体で支え合う体制が整備される。十分なシステム構築に向けて、地域社会全体への浸透を図り、只見町に適したシステム構築に引き続き取り組む。

健康寿命延伸の 具体的方針は

答 地域づくりサロン事業等を推進

問 「団塊の世代」が75歳以上に
なる2025年に向け、
地域住民が元気で健やかに生活し、健康に老い
ることができると地域
づくりを進めることが
重要だ。

答 そのためには、介護予防活動や健康管理等に
係る取り組みを積極的に
推進すべきだが、健康
寿命延伸の具体的な
方針を問う。

答 健康寿命とは、
健康上の問題が



地域づくりサロン事業の実施状況

ない状態で日常生活を送れる期間のことで、日本人の場合、平均寿命と健康寿命の間には男性で約9年、女性で約13年の差があるといわれている。

自立度の低下や寝たきりなど、要支援・要介護状態になることは、健康寿命を害する最大要因である。またその要因の第1位は運動器の障がいといわれ、身体機能や認知機能の低下防止対策に力を入れている。

昨年度の介護保険制度の改正を受け、今年度は地域づくりサロン事業の推進と介護予防手帳の作成に取り組んでいる。今後も住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、地域住民とともに健康寿命の延伸に努めたい。

只見線復旧の経過を示せ

答 沿線市町村では鉄路復旧で一致

問 議会2月会議で、「昨年12月26日の第6回只見線復興推進会議検討会において、上下分離方式により復旧する方針が全会一致で決定した」との報告があった。

この案は、JRが示した2案の内の1つだと思うが、なぜ将来に財政負担を残すこの案を選択したのか。議会もこれまで何度も復旧

のための議論や陳情は行ってきたが、上下分離方式などの議論は1回もしていない。まして町民は、先行する新聞報道に翻弄されている。ここで一度、一緒に

町民に説明すべきと考え、検討会のメンバーと合意に至った会議の経緯を聞きたい。先日委員会で29年度予算に新たな基金を創設する

旨の話があったが、復旧後の分担金の財源を問う。

答 副知事を筆頭とし、只見線沿線市町村長で構成されている。合意に至るまでに、7回に及ぶ会議を開催した、その経過の中で鉄道で復旧することと現在に至った。基金の創設に関しては、本会議で「JR只見線ゆめ基金」として提案

する。この基金は、利活用促進活動や活性化事業にかかる費用、将来想定される運営費に積み立てを予定している。また、ふるさと納税の寄付金等で財源確保に努める。住民説明は機会をとらえて実施していく。

組織改革はあるのか

答 平成29年度から検討

問

町長は所信表明の中で、第一に住民と行政が協働する町づくりを掲げられているが、民意が反映できる体制をどのように考えているのか。また組織（課・係）等の見直しがあるのか、空席の副町長は考えておられるのか。

答

現在、事務改善委員会で行組織の課題の洗い出しをしている。早急に解決



只見駅で手を振る観光まちづくり協会職員

できるものは、すぐに反映させたい。また、課の再編を含めた組織機構改革については、平成29年度から本格的な検討を進め、できるだけ早い時期に新組織をスタートさせたい。その中で私の考える民意が反映できる体制を構築していきたい。

なお、副町長については、本会議で提案をさせていただき予定である。



議員 義 孝 藤 佐
よし たか とう さ



議員 好行 鈴木 吉

観光客を増やすには

答 只見ならではの自然体験を

問

平成23年の水害以降、町内へ訪れる観光客は減ったままになっている。今後どのような方法で観光客を増やしていくのか。

答

アウトドア観光による只見ならではの自然体験を只見川流域で体験できる取り組みの強化と環境整備を検討していく。

問

災害以降観光バスを見かけなくなった。観光ツアー会社への働きかけとか、研修旅行に対する働きかけは行っているか。

答

エージェントに直接足を運んで、キャラバンを組んで誘客を図る。そういった取り組みを進めている。

問

田子倉観光が昨年撤退したことを受け、赤字経営だった田子倉レイクビューの運営を今後どのように考えているか。

答

田子倉レイクビューと遊覧船について、会津ただみ振興公社に財産の貸付けを行い、歳時記会館がある只見湖周辺との一体的な運営により、観光振興を図っていき

問

観光客が特産品の整備計画はあるか。

答

今後の交流人口の拡大に併せて、販売箇所等の適切な整備を検討する。

企業との連携で住宅政策を

答 企業と相談しながら考える

問

町内の企業が抱える問題として、「イターン者を新規雇用しても住むところがない」という現実がある。町内企業と連携して雇用の確保及び住宅政策を進める考えはあるか。

答

今後の住宅政策においては、雇用促進に沿った住宅整備を検討していきたい。町内企業何社かと提携して、町との共同で独身寮的な住宅設備が必要と考えるかがいかがか。

答

それぞれの企業の方と相談しながら考えていきたい。

問

町内の若い人が休日に町外へ出かける傾向がある。若い人が町内で休日をごせる環境整備が必要と思われるかがいかがか。

答

若い世代のニーズを把握しながら、施設整備も検討していく。

問

子どもと一緒に若い親がのんびり過ごせる憩いの場が必要だ。環境整備計画はあるか。

答

農村公園や保育所の庭を開放しながら、そういう場所を作ることは考えたい。



誘致企業で働く従業員

町税損失1億2千万円の住民説明は

答 町民の代表である議会に報告する



さか い ゆう いち
酒井右一議員

問

町の監査報告書、役場庁舎建設に係る調査特別委員会報告書、決算特別委員会審査報告書、それぞれが同じことを書いています。つまり、無益に失った財源1億2千万余。これについては不適切だったということだ。

今、係争中の洪水裁判もあり、ここにまた巨額の損失について住民（監査請求）訴訟に及ぶ可能性もないわけではない。町税の1年分相当を失った。これまで町長はこの損失について、「責任ある者」として住民に説明していないからではないか。いずれ町民は黙ってはいない。町長は当事

者として住民に説明責任を果たすべきだ。

答

役場庁舎建設に係る調査特別委員会では7項目（問題点）出されているが、今それを一つひとつ確認している。場合によっては県、それからさきほど民事の話があったので、弁護士とも協議せざるを得ない事もある。

問

この損失、何があったのか。納得できる説明が必要だ。いつ、どのような形で住民に説明されるのか。

答

一つひとつ、予算提案、議会の議決、執行内容など、整理しながら行う。契約等、個々で早急

問

町長はこの損失に係る当局としての予算提案、予算執行、事務の執行権限行使にあたり、不適切に

答

行われた事務について自ら検証して、その検証結果、総括を町民に報告する。そう理解してよろしいか。

議会に報告をさせて頂きたい。

※他に、「只見町の将来と活力の維持」について質問しました。



役場庁舎建設に係る調査特別委員会
調査報告を行う酒井右一委員長

入学準備金の 入学前支給を

答 国の動向と先進地も調査検討したい



やまぎし くに お
山岸 国 夫 議員



今年入学した只見小学校1年生

問 要保護及び準要保護世帯の小中学生の就学援助費のうち、入学準備金の支

答 国の平成29年度予算案で「要保護世帯」の新入学児童生徒学用品等の支給単価が約2倍に引き上げられた内容を把握している。準要保護世帯へ

給時期を6月から入学前に支給すること、国の単価改定を準要保護世帯にも適用すること、準要保護世帯の基準額を拡大することを求める。

問 入学前支給は、全国で80の市町

の対応は、国の動向を注視していく。準要保護世帯の認定基準は、生活保護基準額に1・3倍以内の係数としている自治体が多いことから現状維持する。

答 国の通知は、要保護世帯について「支給は年度の当初

村が実施している。準要保護世帯の児童生徒への支給は町単独のものである。町の子育て支援対策として対応できるのではないか。

ブナセンターの役割と 職員配置について

答 役割は重要、報酬・勤務時間の見直しが必要

問 町の振興計画で「只見ユネスコエコパーク」の基本理念と目標をまちづくりの基本理念としている。これを実現していくブナセンターの果たす役割は重要であり、要をなす人材育成、職員配置が重要と考えるが、見解を問う。

職を有することを要件とし、採用、配置している。

問 若者定住促進に向け、IUTター

若者が定住できる保障が必要。定住には、働く場所、住居が最低限の保障である。短期雇用では知的財産が蓄積されない。

答 学芸員・専門員の報酬について勤務時間も含め見直しが必要と思う。現在のできる範囲内で環境づくりは考える。

答 重要な事項と認識している。募集段階で、専門的な知

そのためには、給与の改善も必要であり、

識している。募集段階で、専門的な知

そのためには、給与の改善も必要であり、



追悼 新國秀一議員を偲ぶ

2月25日に急逝された新國秀一議員に対し、3月会議冒頭に黙祷を捧げた後、大塚純一郎議員が代表し追悼演説を行いました。

去る2月25日に急逝されました故新國秀一殿の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。本日、只見町議会3月会議は招集されましたが、新國秀一議員のお姿は見えません。代わりに貴方の机の上には美しい花が置かれています。しかし、今、私には貴方のいつもの大きな姿、大きなお顔が見えてきます。そして、貴方の大きな声が聞こえてきます…。

顧みますと、貴方は平成20年3月の議会議員選挙で初当選以来9年間、只見町議会議員として在職され、只見町政の伸展にご尽力されました。その間、総務厚生常任委員長、経済文教常任委員長を歴任され、そして、現在は議会運営委員会委員長の要職を務めておられました。

只見町議会の改革に理解を示され、議会基本条例の制定には誰よりも積極的に取り組まれておりました。持ち前の豊かな人間性と優れた識見によって、議会の先導者としてご活躍されました。只見町の数多くの課題解決には、貴方の手腕に待つところが大きかっただけに、いよいよこれからといった時の、貴方の突然の終焉は、町の損失であり、同時に痛惜の念に堪えません。

今、思い起こせば、昨年11月25日議会運営委員会の視察調査として、全国町村議会議長会に出向き地方議会の現状と課題について検討しました。貴方の委員長として積極的に熱心に取り組んでおられた姿、そして、あの何とも言えない笑顔…。今、再び見ることはかないません…。

さぞかし無念だったでしょう…。さぞかし心残りでしょうね…。

私どもは、ご逝去の日まで、誰よりも只見町を愛し、誰よりも只見町の将来のことを思い続けられた新國秀一議員のお気持ちにお応えしたいと思います。

どうか在天より発展する只見町をいつまでも、いつまでも見守ってください。

…新國秀一議員…どうか安らかに眠りください。

只見町議会議員 大塚純一郎



追悼演説を行う大塚議員。空席の新國議員の議席へは献花が

●新國秀一議員の経歴

昭和31年7月18日—平成29年2月25日（享年60歳）

任期	主な役職
H22.4.20～H23.10.19	総務厚生常任委員会副委員長
H22.4.20～H24.4.19	公共施設等再配置調査特別委員会副委員長
H23.6.27～H24.4.19	季の郷湯ら里再生調査特別委員会副委員長
H23.10.20～H24.4.19	総務厚生常任委員会委員長
H24.4.20～H26.4.18	経済文教常任委員会委員長
H26.4.18～H28.4.19	議会運営委員会副委員長
H28.4.20～	議会運営委員会委員長

只見の伝統文化にふれて



明和小学校 6年

きく ち ゆう が
菊 地 結 雅

僕達は学校の授業で、3年生の時に小林早乙女踊り、4年生の時に梁取神楽を披露しました。

初めは「何でこんな事をするのだろうか」と思っていました。しかし、練習を重ねていくうちに教えてくださる地域の人たちの顔がとても真剣で、伝統芸能のことを大切に思っている事に気づきました。僕は「只見の伝統は、こうして引き継がれていくのだな」と感じ、自分も大切にしていきたいと思いました。将来、只見の伝統を大切にしていきたいです。

郷土料理作りを体験して



朝日小学校 6年

やま だ ゆう けい
山 田 夢 空

私たちは、総合の学習で郷土料理について調べました。最初は、郷土料理は作ったこともないし、

食べたこともなかったです。郷土料理を作るのは簡単でしょとさえ思っていました。でも実際に作ってみると、すごく難しかったです。昔の人は、こんなに大変な思いをして作っていたんだと思いました。でも、こんなに楽しいんだとも思いました。また、郷土料理には先人からの知恵や思いが詰まっていることもわかりました。これからも只見の伝統を忘れないようにしていきたいです。



自治功労者表彰を受ける齋藤邦夫議員

齋藤邦夫議員
全国町村議会議長会
自治功労者表彰受賞

平成29年2月8日開催の全国町村議会議長会定期総会において、町村議会議長を7年以上在職された議員として、齋藤邦夫議員が表彰を受けました。

表彰状贈呈は、2月21日福島県町村議会議長会定期総会の会場において行われました。福島県内では1名のみの受賞です。

編集後記

3月会議は、今年度の予算審議が主であり、特別委員会を経て審議され可決されましたが、小中学校及び高校の卒業式の時期でもありました。多くの学生が只見町を離れていきますが、何年後には生まれ育った地で生活を営んでほしい。予算の中には、UITターンを応援する予算が今まで以上に組まれています。

また、3月会議は11人の議会体制となつてしまいました。現状では、議員の改選まで11人体制で運営されていくこととなります。改めて、故新國秀一議員のご冥福をお祈りいたします。
(中野大徳委員)

発行責任者

議長 齋藤邦夫

広報広聴常任委員会

委員長 目黒仁也

副委員長 目黒道人

委員 大塚純一郎

委員 中野大徳

委員 山岸国夫

委員 鈴木好行